

nmsホールディングス 2024年3月期 決算説明会

2024年5月28日

nmsホールディングス株式会社

(東証スタンダード 2162)

Piece of Innovation.

nms
Holdings

nms ホールディングス株式会社

2024年3月期 決算概要

- 欧米の金融引き締め政策による景気停滞や、最終需要減少によるお客様の減産等の影響があったものの国内およびASEANにおける需要は底堅く、全体として堅調に推移
- お客様の減産等による影響もあり売上が減少したものの、これまで実行してきた事業構造改革の効果定着や生産性改善、これに伴う固定費の削減等、基盤強化策も寄与し、営業利益が増加、経常利益も業績予想数値（2023年10月30日公表）を超過
- サプライチェーンをはじめとする市場構造が変化しており、今後も不透明な事業環境が続く様相だが、景況変化においても、確実に利益をだせる体質に転換を図っており、次期も基盤強化策を進めるとともに、今後の事業成長を生み出す戦略投資の見極めを行いながら、次の成長につながる施策を実行していく

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績					累計	備考
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
売上高	79,033	18,565	17,709	18,407	18,191	72,874		
営業利益	1,537	483	14	610	779	1,888	【営業外損益】 営業外収益 634百万 (前年同期比 176百万円増) 営業外費用 952百万円 (前年同期比 383百万円増)	
経常利益	1,426	698	191	269	411	1,570		
親会社株主に帰属する 当期純利益	505	496	63	216	△39	737	【特別損益】 特別利益 1百万円 特別損失 45百万円	
1株当たり 当期純利益 (円)	32.52	31.93	4.10	13.95	△2.56	47.42		
EBITDA	2,980	842	386	949	1,132	3,311		

■ セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2023年 3月期 実績	2024年3月期 実績						前年同期比	主なポイント
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計			
HS事業	売上高	23,260	5,761	5,655	5,736	5,541	22,695	△2.4%	<ul style="list-style-type: none"> 国内は、自動車・半導体関連を中心としたお客様の生産調整があったものの、需要は総じて堅調に推移 海外は在庫調整等による減産の影響はあったが、基盤強化策の効果があり収益性が改善、全体として減収増益 	
	セグメント利益	1,066	196	231	331	351	1,110	+44		
EMS事業	売上高	38,157	9,118	8,228	8,387	8,554	34,290	△10.1%	<ul style="list-style-type: none"> 戦略拠点で新規受注立ち上げや量産開始があったものの、お客様の減産や生産調整の影響があり売上高は前年比で減少 利益面では、各拠点における生産性改善やコスト構造見直しの成果もあり増益 	
	セグメント利益	330	242	△107	85	354	575	+244		
PS事業	売上高	17,615	3,685	3,824	4,282	4,095	15,888	△9.8%	<ul style="list-style-type: none"> 国内需要は高い水準を維持したが、海外においてお客様の生産・在庫調整が発生した影響で減収 生産効率向上や部材調達ソースの拡大等、安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行し増益 	
	セグメント利益	637	203	15	356	209	785	+148		
調整額	セグメント利益	△496	△159	△124	△163	△135	△582	—	当社（持株会社）に係る全社費用	
合計	売上高	79,033	18,565	17,709	18,407	18,191	72,874	△7.8%	HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業	
	セグメント利益	1,537	483	14	610	779	1,888	+350		

売上高

22,695百万円

前年同期比 2.4%減

セグメント利益

1,110百万円

前年同期比 4.2%増

【事業主体】

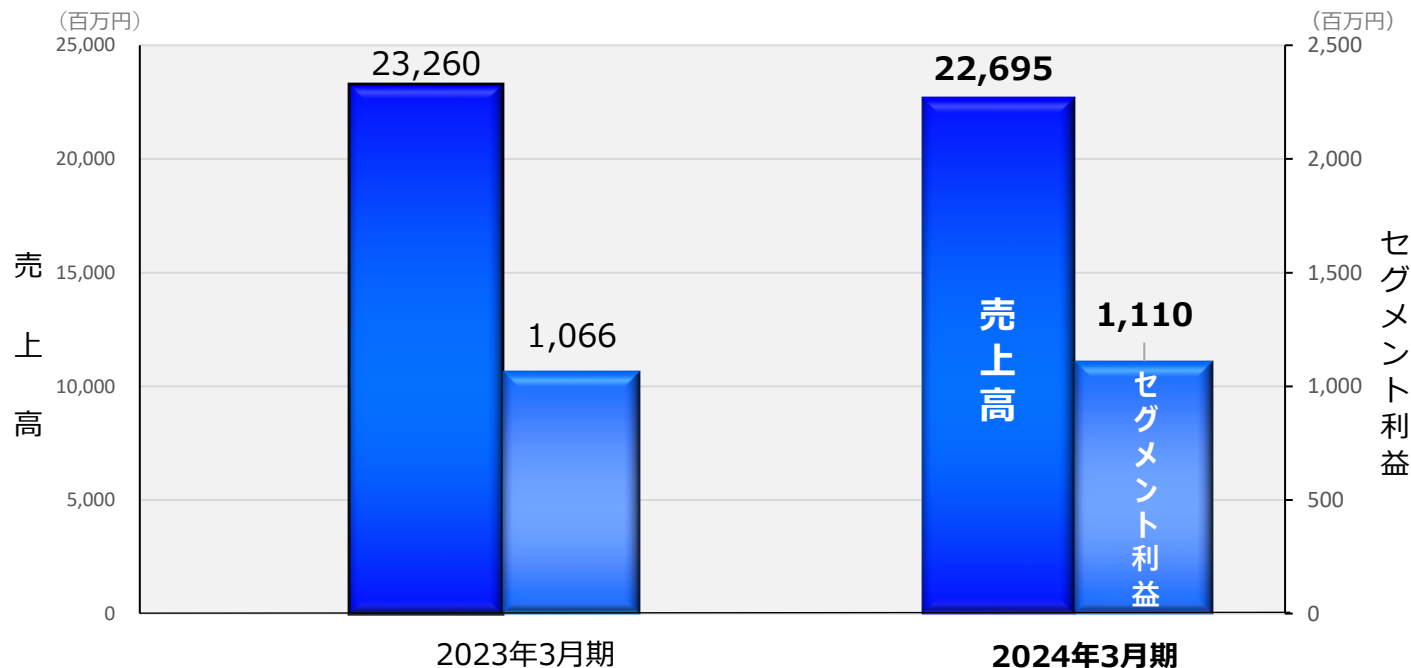
日本マニファクチャリング
サービスグループ

国内

- 自動車・半導体関連を中心としたお客様の生産調整による影響があり売上が抑制されたものの、需要は堅調に推移
- 既存取引における単価交渉や経費抑制による原価率の改善、適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め、収益性の改善に努めた

海外

中国やベトナムにおいてお客様の在庫調整等による減産が継続したことによる影響があったものの、基盤強化策の効果もあり堅調に推移



売上高

34,290百万円

前年同期比 10.1%減

セグメント利益

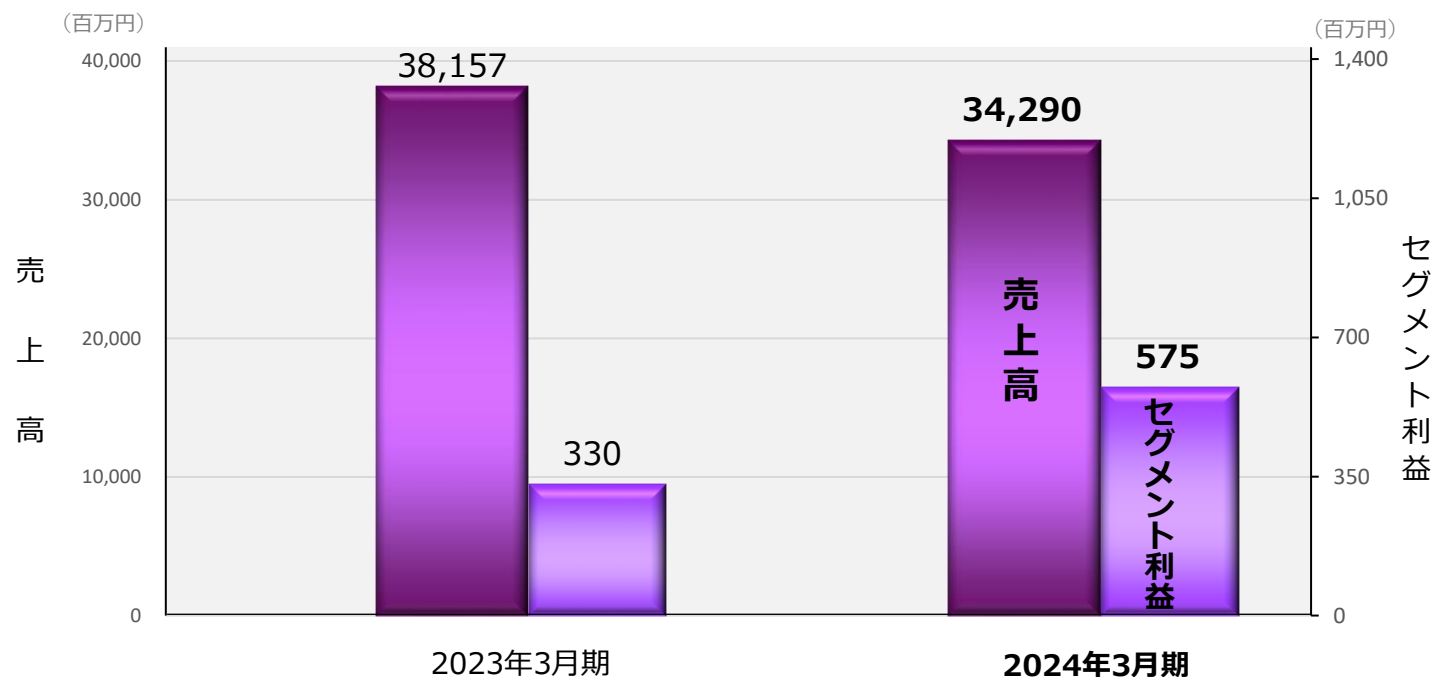
575百万円

前年同期比 74.1%増

【事業主体】

TKRグループ

- 中国・ASEAN・北米において生産活動を展開しており、戦略拠点における新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加等、事業規模拡大効果はあったものの、海外においてお客様の販売戦略変更による減産や生産調整の影響があり、売上高は減少
- 利益面では、お客様の生産調整影響があったものの、各拠点における生産性の改善やコスト構造見直しの成果もあり、増益
- 北米事業は市場領域拡大を担う重点施策であり、お客様からの引き合いも増えていることから、業績改善に向け基盤強化策の実行を推進



売上高

15,888百万円

前年同期比 9.8%減

セグメント利益

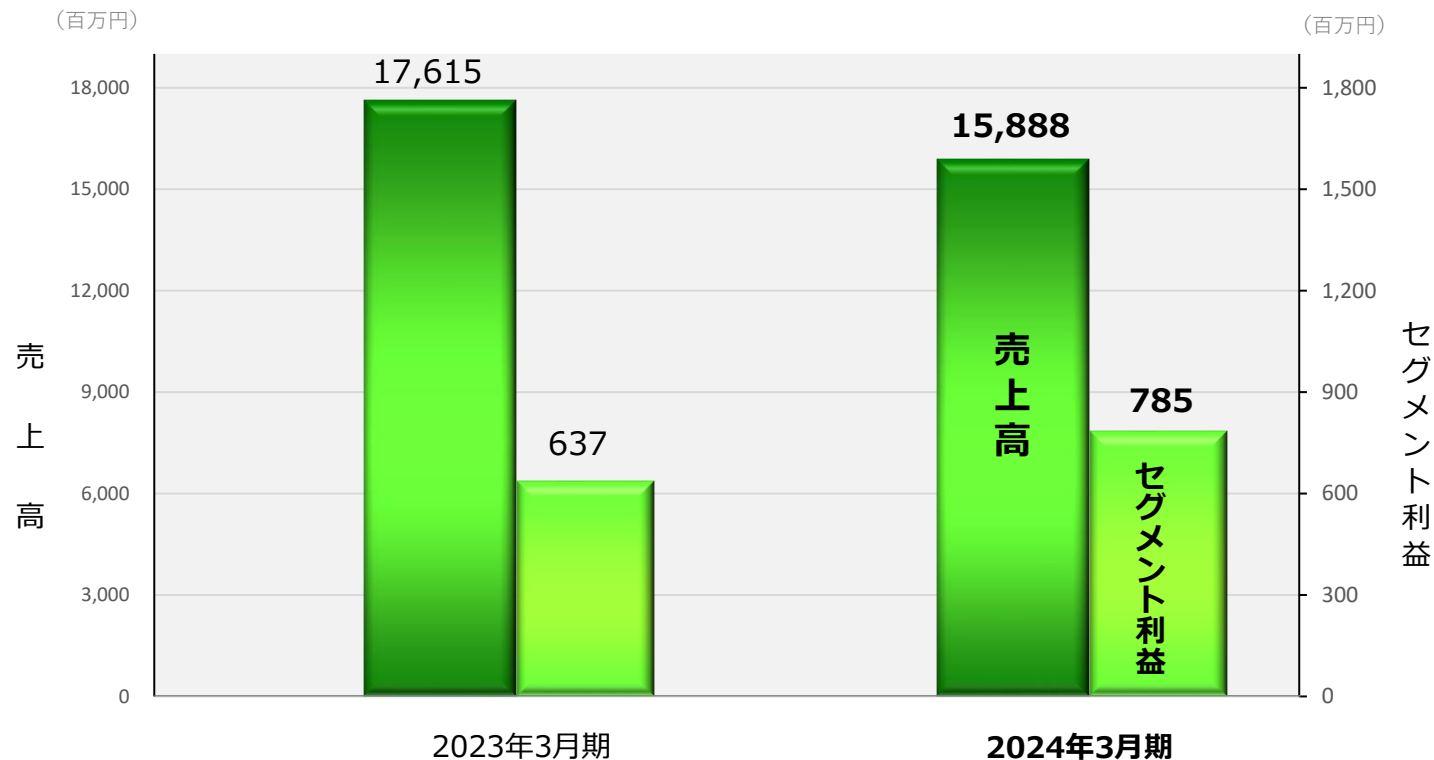
785百万円

前年同期比 23.3%増

【事業主体】

パワーサプライテクノロジー
グループ

- 国内需要は高い水準を維持するも、海外において販売減少の影響等による生産・在庫調整が発生したことにより、売上高は減少
- 部材調達ソースの拡大等安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行し、前年同期に対し増益



■ 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2023年3月期 (2023年3月31日)	2024年3月期 (2024年3月31日)	増減
流動資産	30,020	26,178	△3,842
固定資産	8,885	9,784	899
有形固定資産	7,089	7,981	891
無形固定資産	651	605	△46
投資その他の資産	1,143	1,197	53
繰延資産	26	13	△13
資産合計	38,932	35,976	△2,956
負債合計	36,417	32,631	△3,786
流動負債	28,519	29,219	700
固定負債	7,898	3,411	△4,486
純資産合計	2,514	3,344	829
負債・純資産合計	38,932	35,976	△2,956

■ 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2023年3月期	2024年3月期	主なポイント
税金等調整前当期純利益	1,166	1,526		
減価償却費	1,442	1,423		
運転資金の増減	△2,590	3,137	売上債権 2,228 在庫 3,824 仕入債務 △2,915	
その他	△273	△1,314		
営業キャッシュ・フロー	△253	4,772		
固定資産の取得・売却	△1,632	△1,003	売却収入 2 取得支出 △1,006	
その他	18	△48		
投資キャッシュ・フロー	△1,613	△1,052		
フリーキャッシュ・フロー	△1,867	3,720		
借入金の増減	△176	△2,396		
配当金支払 他	△354	△695	リース債務返済 △602 配当金 △93	
財務キャッシュ・フロー	△530	△3,092		
現金及び現金同等物期末残高	3,041	4,203		

■ 2025年3月期 業績予想・配当予想

- 感染症拡大を経て、サプライチェーンをはじめとする市場構造が変化しており、在庫の不足・増産から一転して在庫調整・減産へ、というサイクルが、不定期に繰り返される状況が続く様相だが、当社グループ事業は、景況変化においても、確実に利益をだせる体質に転換を図っており、2025年3月期も基盤強化策を進めるとともに、今後の事業成長を生み出す戦略投資の見極めを行いながら、次の成長につながる施策を実行していく
- これらにより、25年3月期の通期連結業績は、売上高 75,000百万円、営業利益 2,100百万円、経常利益 1,900百万円、当期純利益 1,300百万円を計画
- 配当については7円増配となる、1株当たり14円の期末配当を予定

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	2024年3月期 実績比
売上高	79,033	72,874	75,000	2.9%
営業利益	1,537	1,888	2,100	11.2%
経常利益	1,426	1,570	1,900	21.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	505	737	1,300	76.4%
1株当たり 当期純利益	32.52	47.42	83.64	+36.22
1株当たり配当金 (期末配当)	6円	7円	14円	

本中期経営計画期間は利益成長とともに配当額を増加させ 株主の皆様への期待に応えていきます

23-25年度中期経営計画期間においては、「持続的な成長」を実現していくための基盤構築の期間と位置づけており、内部留保と成長投資にもキャッシュを振り向けながら段階的に配当金額を引き上げ、株主の皆様への還元を行っていきたくと考えております



セグメント別事業概況

- HS（ヒューマンソリューション）事業
- EMS（エレクトロニクスマニファクチャリングサービス）事業
- PS（パワーサプライ）事業

基本方針

- これまで実行した構造改革施策の効果を定着させ、基盤強化と事業強化の両輪で質が伴った成長を実現する
- 当中計期間は部分最適と全体最適のバランスをとりながら強固な経営基盤を構築

中期重点戦略

【基盤強化】

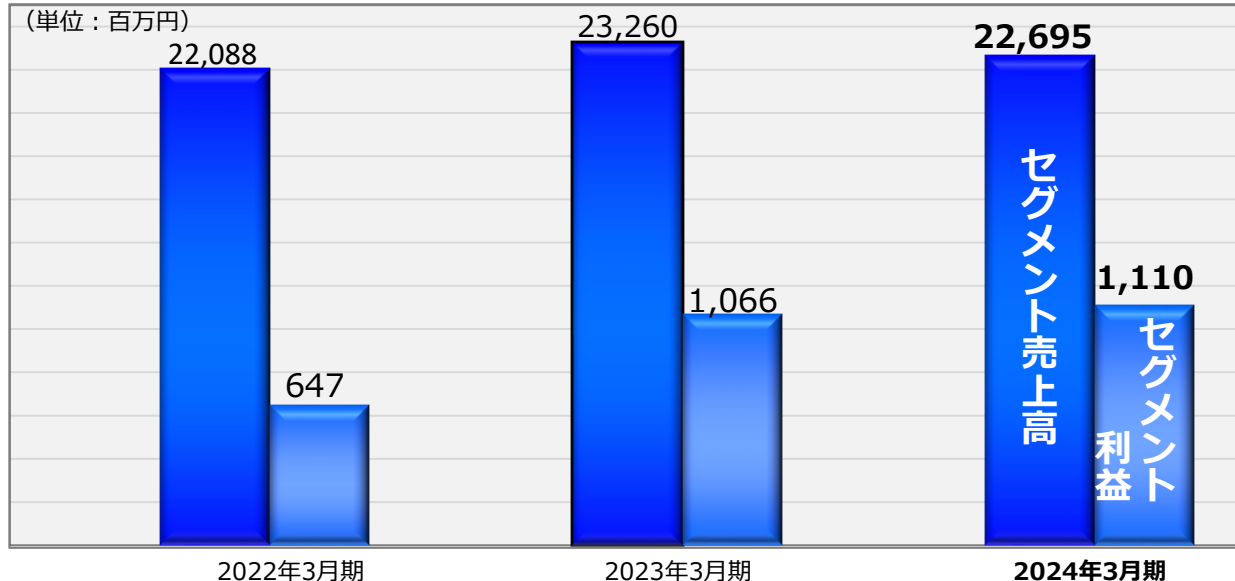
- ・多様な人材が活躍するしくみづくり
- ・HS事業のDX化
⇒ デジタル技術・AIを活用し、事業運営の効率化を加速

【事業強化】

- ・お客様のニーズに即した多様な人材の確保と育成、これによるソリューションの提供（外国人材、シニアエキスパート人材他）
- ・グローバル・プラットフォーム・サービス展開
⇒ 海外人材の採用から定着までOne-stopプラットフォームを構築

24年度実行施策

- 多様な人材の確保でお客様のニーズに対応
 - ・即戦力となるシニアエキスパート人材の雇用推進
 - ・多様な外国人材の活躍推進（高度エンジニア人材）
 - ・ウクライナ人材への支援ネットワーク強化、就業支援開始
- エンジニア人材に特化した「技術センター」設置、24年春稼働
- 「グローバル・プラットフォーム・サービス」事業規模拡大に向けベトナムにおいて基盤強化策を実行
 - ・ベトナム人材企業3社とアライアンスネットワークに加え様々な分野の人材採用・教育を行う日系企業と提携



【HS事業】外国人材の技能実習施設 「nmsテクノロジートレーニングサイト」

- 日本に入国した外国人材の早期活躍が可能となる環境を整備し、お客様の課題解決に貢献
- 研修メニューを充実させた専門施設として、常時数十名が受講可能
- 少子高齢化による労働人口の減少が深刻さを増す中、高度な技術を有する外国人材の需要は日に日に増している
- 現地で採用された外国人材は、挨拶などの基本的な研修を経て入国
- 入国後、すぐにテクノロジートレーニングサイトで研修をはじめることができる

nmsテクノロジートレーニングサイト概要

所在地	埼玉県熊谷市千代39
面積	250m ²
開設日	2024年2月9日（金）



nms 松本社長(中央)と外国人材で記念写真

主な研修メニューカテゴリー



【HS事業】ラオス政府と人材採用拡大に向けた パートナーシップ協定を締結

- ラオス人民民主共和国労働・社会福祉省とラオスでの人材採用と教育・生活支援の拡充を目的としたパートナーシップ協定を締結
- nms ラオスは人材派遣業ならびに人材紹介業における優良企業として日系企業で唯一「推薦状」を交付されており、日本やタイへ累計1,950名の人材送り出しを行ってきた実績が評価された

パートナーシップ協定内容

- ・ラオス人材の日本への就労者数拡大に向けた採用支援
- ・日本語および日本文化について学習できる環境の提供
- ・来日後の生活面・就労面での支援



調印式に出席したラオス政府関係者および当社関係者

長年培った
ラオスでの事業経験
人材育成ノウハウ

nms
NIPPON MANUFACTURING SERVICE



ラオス人民民主共和国
労働・社会福祉省



・日本への人材の
安定確保／供給
・ラオスの経済発展
の源泉へ

- nmsグループが持つ日本品質のモノづくりノウハウと、ベトナムで日本への送り出し実績を持つ人材会社3社それぞれの人材採用ネットワークを掛け合わせ、技能教育の高度化を行う

日本の製造業が直面している課題

- ・ 製造業の人材不足
- ・ バリューチェーン再構築によるASEANへの生産分散化加速
- ・ ニーズはマニュアルワーカーからナレッジワーカーへ拡大
(技術だけでなく技能を習得した高度人材の確保)
- ・ アジア各国の若年層を中心とした高い人材流動性

NIPPON MANUFACTURING SERVICE

日本品質のモノづくりノウハウ

グローバルサポート体制

- ・ 中国・ASEANに拠点展開
- ・ 安定した外国人材提供

幅広いサービス内容

- ・ 製造派遣/製造請負/リペア事業
- ・ 外国人材への研修受託

エンジニアリング人材体制

- ・ エンジニア人材派遣
- ・ エンジニアリング受託

グループEMS事業との連携

- ・ 省力化装置と複合提案



3社それぞれの人材採用ネットワーク

ベトナム国際人材株式会社

VIET INTERNATIONAL LABOUR JOINT STOCK COMPANY

- ・ 営業拠点 ベトナム国内23拠点
- ・ 21の大学・短大と提携

ホアン・ロン人材派遣株式会社

HOANG LONG CMS., JSC.

- ・ 営業拠点 ベトナム国内20拠点
- ・ 12の大学・短大と提携

株式会社ITM

INFORMATION TECHNOLOGY MANPOWER JOINT STOCK COMPANY

- ・ 営業拠点 ベトナム国内14拠点
- ・ 11の大学・短大と提携

- 人材の採用から育成・定着まで一貫した体制を整え、メカニカルエンジニアリングを軸に製造業の高度エンジニア人材不足に対応
- 技術革新が進む日本の製造業において、さまざまな分野で即戦力となるエンジニア人材ニーズの高まりに対応する

技術センターの特長

- ①メカニカルエンジニアリングを軸とした、設計・シミュレーション等の機電系・制御系エンジニア人材の採用・育成に特化
- ②お客様のニーズに即した専門的なカスタマイズ研修プログラムの実践
- ③即戦力人材の配置・定着まで幅広いサポートを展開
- ④講師陣は現場での豊富な実務経験と教育経験をもった高度エンジニアで構成
- ⑤研修生4名に対して講師1名が対応する少人数構成で、密度の濃い技術研修を実践

nms エンジニアリング 技術センター概要

東日本技術センター (新宿駅近郊)	所在地：東京都新宿区新宿1-6-3 新宿御苑フロント7階
西日本技術センター (新大阪駅近郊)	所在地：大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24 新大阪第3トイビル 3階
面積・収容人数	面積：80坪（東西2カ所合計）、収容人数：60名

基本方針

- 大量生産品を日本品質で、かつ、より低価格で実現する「メガEMS」と、熟成したマーケットにおける「オーダーメイド型EMS」の掛け合わせで全方位Win/Winを実現
- 当社グループ独自のEMS新概念「Engineering Manufacturing Service」でパートナー戦略を強化、持続的成長を実現



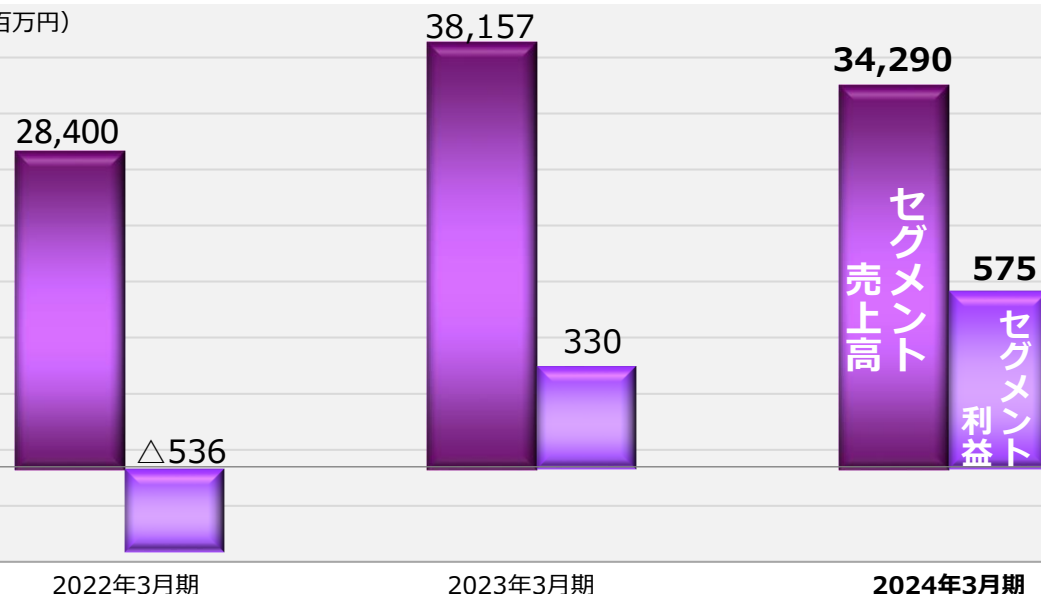
中期重点戦略

- マレーシア拠点のキャッシュカウ化、これによるグループ経営資源の循環機能の強化
- 中国拠点のポートフォリオ組み換え
これによる収益性改善と持続的成長
- 戦略投資拠点であるベトナム、メキシコの本格的業績寄与
ベトナム：プレス加工技術を武器に受注拡大
メキシコ：基板実装+自動化で車載関連、エンジニアリングツール関連を拡大
- グローバル生産体制の機動力の要となる国内拠点の機能強化、高度化
(営業・技術・調達・管理)

24年度実行施策

- 戦略投資を行ってきたベトナム拠点は、お客様のベトナム生産移管ニーズも享受し、着実に売上・利益が増加、24年度も堅調に推移する見込み、工場拡張（第3工場）や基板実装ライン新設も視野
- メキシコ拠点は受注量増加、自動化設備投入で生産性改善
24年度から新規受注立ち上げ、生産数量増加
25年度以降の生産能力増強の検討に入る
- グループ各拠点が持つ自動化技術をお客様ニーズにあわせグループ内で横展開、生産性向上で利益創出力改善

(単位：百万円)



■ 事業の主軸・方向性

【精密順送プレス加工】

ベトナムで特長を出せるプレス加工で
顧客基盤拡大

■ 中計でめざす姿

新拠点のメガEMSとして必要な機能を全て取り込み、
「Engineering Manufacturing Service」をめざした人材
育成を実施し、トップライン成長による利益創出フェーズに転換

所在地	ベトナム ヴィンフック省
稼働開始	2019年5月
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・板金プレス加工 ・タッブ・カシメ・洗浄等の2次加工 ・ユニットおよび完成品の組み立て（2020年より開始）



TKRベトナム外観

特長

板金プレス等の金属加工や二次加工、完成品組み立てを得意とし、150～400tの
大型プレス機で最終製品の成型まで可能、今後は基板実装ライン設置も視野

① 総敷地面積は40,000㎡、2工場で構成

プレス工場（土地20,000㎡・建物11,000㎡）／実装組立工場（土地20,000㎡・建物20,000㎡）

② マレーシア拠点と連携・機能すみ分けを行い、日本や中国からベトナムへの生産移管ニーズも
積極的に取り込み、機動的な生産体制を構築③ 車載用非接触充電器などの半完成品組み立てや、家庭用テレビスタンドの金属加工なども手掛ける
今後は基板実装ラインの新設や第3工場の建設も視野

■ 事業の主軸・方向性

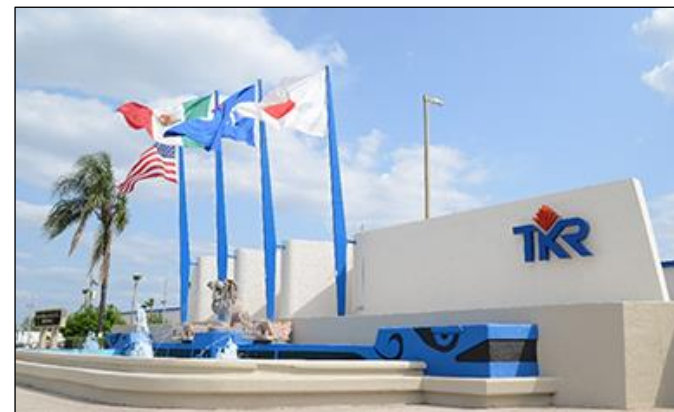
【基板実装】

エンジニアリングツールや車載関連の
基板実装ビジネスを展開

■ 中計でめざす姿

ベトナム拠点と同様、新拠点のメガEMSとして必要な機能を全て取り込み「Engineering Manufacturing Service」をめざした人材育成を実施、トップライン成長による利益創出フェーズに転換

所在地	メキシコ タウマパリス州 ヌエボ・ラレド
稼働開始	2019年4月
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品の製造／修理 ・プラスチック射出成型 ・ユニット・完成品の組み立て ・小売店向け特注什器（ディスプレイ） ・自動車メーカー向け純正品の生産 ・治具の製作 ・自動化機器の設計・開発



TKRメキシコ外観

特長

メキシコ－米国－カナダの工業地帯を結ぶ最適な地理的位置に立地する製造工場

- ① 米国とメキシコの国境沿いに立地、「製造＋ロジスティクス」両面で事業メリットを享受
- ② 市場規模が大きくかつ安定した市場であるエンジニアリングツール分野、車載分野をターゲットとし事業を展開、TKRグループ各拠点の製造ノウハウを集結させ、自動化ラインの設置などを実行
- ③ 24年度は生産数量を増やししながら、自動化ラインの実効を上げ、事業効率を改善
コロナ禍の中で投資は手控えてきたが、受注は確実に増えており、25年度以降に基板実装ライン増設も視野に入れ、基盤強化を進める

基本方針

- 高圧電源、マグネットロールを中心に体質強化
ドキュメント市場でシェア拡大し、粘り抜く
- 高圧商品（電源・トランス）を切り口に産業・
環境市場への展開を加速
- 売上成長を伴う安定的な収益体質へ転換



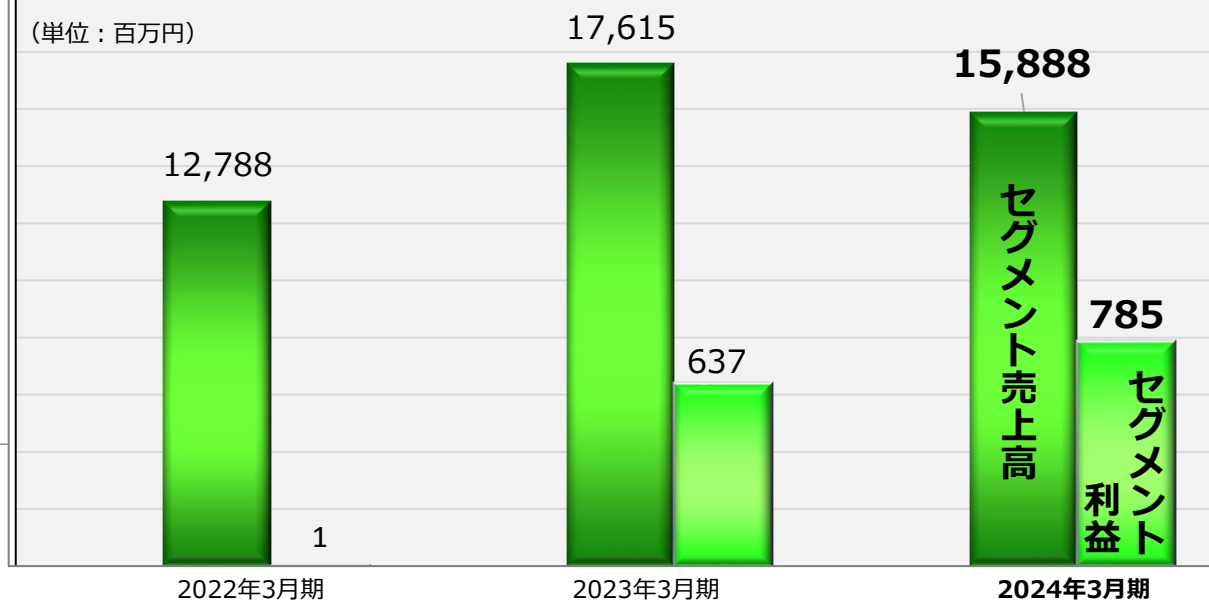
中期重点戦略

- 高圧電源/マグネットロール：
ドキュメント市場でシェア拡大、体質強化
- 高圧電源/高圧トランス：
環境市場（産業・家電分野）に展開
- 低圧電源：
産業市場（ロボティクス・スマートファク
トリー）のシェア拡大
- 持続的成長を実現するリソースの強化、
企業文化の活性化

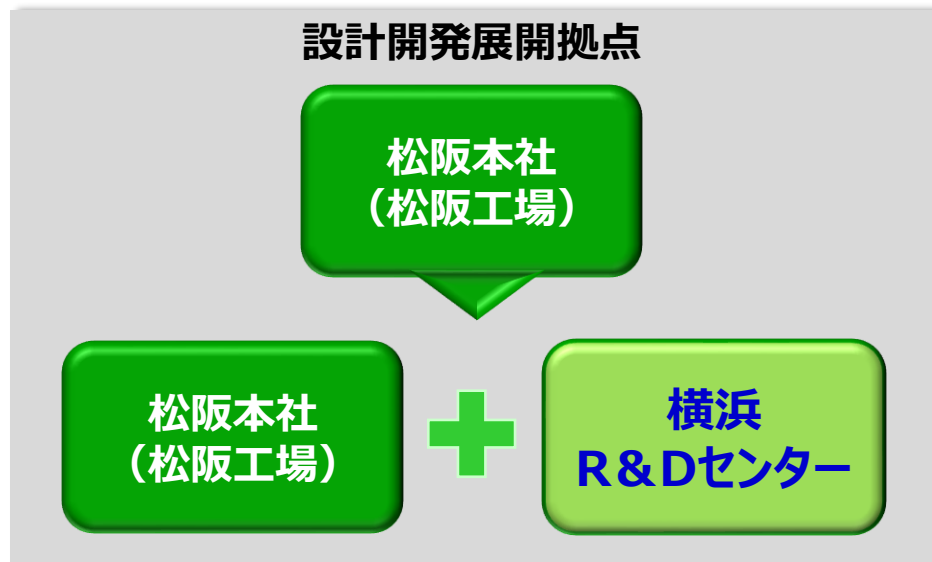
24年度実行施策

- 23年5月、神奈川県横浜市に「横浜R&Dセンター」を設置
「環境衛生」「脱炭素」「電動化」をキーワードに技術開発推進
- ベトナムにおいて外部EMS企業と連携、生産委託を開始
国内はグループ内EMS（志摩電子工業）のインフラを活用、
日本・中国・ASEANで機動的な生産体制を確立
- 部材調達ソースの多様化や、コスト削減を継続実行、景況変動
においても安定的に利益創出できる体質に転換

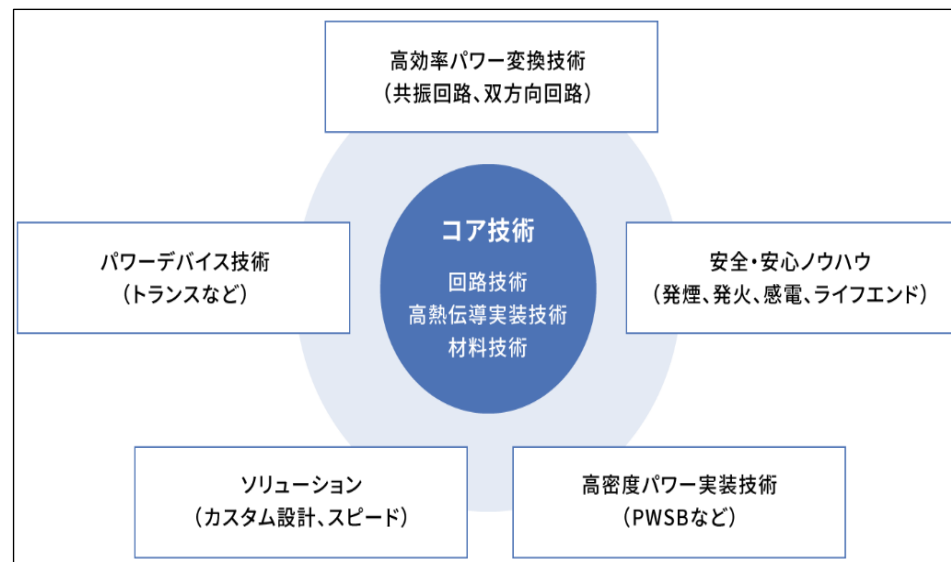
(単位：百万円)



PSTの設計開発機能



松阪本社に加え、横浜R&Dセンターで
関東地区でのお客様との開発連携強化



「キーデバイスの自社開発」をはじめとした
カスタム製品を生み出すPSTの開発技術

パワーサプライテクノロジー 横浜R&Dセンター概要

所在地	神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-32 Aquaria Tower Yokohama 17F
拠点概要	R&Dおよび営業機能

営業拠点としてもお客様のニーズ
に即応する体制を強化し次世代を
担う電源製品の拡販も進める

- 外部EMS企業と連携を行い日本・中国・ASEANでの機動的な電源製品生産体制を整える
- お客様の生産における市場・地域の分散化やBCPの観点からベトナムでの生産ニーズが高まっており、これに対応するもの

PSTの電源製品ノウハウ

- 電源専門メーカーの高度な技術力
- 主力製品のカスタム電源、トランス、マグネットロールなどの開発・設計から販売まで一貫対応することにより最適な電源ソリューションを提供



カトーレックのノウハウ

- 1980年にエレクトロニクス事業に参入、1993年から海外にも展開
- 国内外拠点で電子機器の設計から部品調達、プリント基板実装、完成品の組立まで一貫したサービスを提供

名 称	KATOLEC VIETNAM CORPORATION «KAV» (カトーレック ベトナム工場)
所 在 地	Lot 41A-B, Quang Minh Industrial Zone, Me Linh District, Hanoi, VIETNAM
事 業 内 容	プリント基板実装～完成品組立
本 社	カトーレック株式会社 (所在地：東京都江東区枝川 2-8-7)



カトーレック ベトナム工場

(参考) これまでの歩み：人材ビジネス+モノづくりで事業拡大

HS事業
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える
アナログ技術に着目

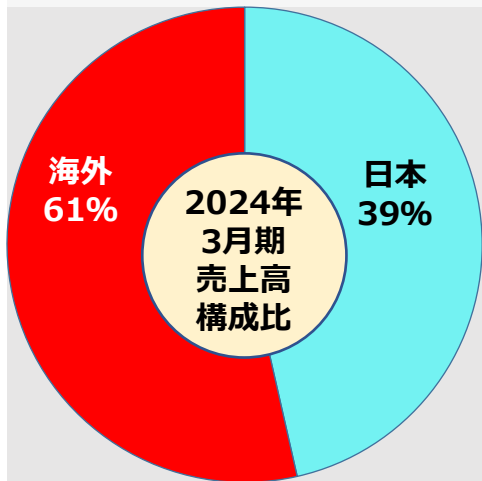
EMS・PS事業を
M&Aで獲得
モノづくり分野へ進出

北米へ進出

新たなステージへ

9月	製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立	1985	
9月	商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更	1999	
7月	北京日華材創国際技術服務有限公司を設立	2000	10月 テクノブレン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受
10月	JASDAQ証券取引所へ上場（現東京証券取引所スタンダード市場）	2003	4月 中国北京市に北京オフィスを開設
7月	EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化	2004	4月 日本人技術者派遣事業を開始
8月	NMS International Vietnam Company Limited 設立 （外資初の構内製造請負事業許可を取得）	2005	4月 日本人技術者派遣事業を開始
12月	北京中基衆合国際技術服務有限公司（現：中基縦合（上海） 人力資源服務有限公司（中基縦合））を設立 （外資初の中国国内労務派遣営業許可取得）	2007	7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
3月	中基縦合が中国政府系人材サービス会社を子会社化	2008	7月 EMS企業の株式会社テーキアール（現：TKR）を子会社化
10月	TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより 電源・トランス事業等を譲受	2010	9月 中基縦合 無錫分公司を設立
1月	nms Vietnam Co., Ltd.設立	2011	1月 中基縦合 深圳分公司を設立
3月	カンボジア駐在員事務所設立	2012	7月 中基縦合が中国河南省政府系機関と業務提携
7月	ベトナム工場、製造受託開始	2013	5月 中国製造請負研究プロジェクトに参画
7月	nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携	2014	8月 日本通運株式会社と業務提携
7月	TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立	2016	9月 nms(Thailand)Co., Ltd. を設立、派遣事業を開始
1月	PSTが開発・製造拠点「松阪工場」を開設	2017	10月 パワーサプライテクノロジー株式会社（PST）発足、パナソニック株式会社から 一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始
5月	TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd. を設立	2018	12月 カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携
6月	n m s ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立	2019	nms ホールディングス発足
10月	PT. NMS CONSULTING INDONESIA を設立	2020	7月 NMS Lao Sole Co., Ltd. 設立
12月	TKR USA, Inc. を設立	2021	8月 株式会社日本技能教育機構（JATEO）を設立
1月	n m s エンジニアリング株式会社を設立	2022	3月 TKR USAがソニー株式会社の米国法人Sony Electronics Inc.の 事業部門 Sony Service and Operations of Americasの 機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を譲受
3月	Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd. を設立	2023	4月 TKR de México S.A. de C.V. にて事業開始
7月	Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立	2024	1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limited にて事業開始
2月	外国人材の技能教育施設、「nms テクノロートレーニングサイト」を開設		1月 「株式会社テーキアール」から「株式会社TKR」に商号変更
3月	PSTが横浜にR & Dセンターを開設		
4月	n m s エンジニアリングが東京と大阪に技術センターを開設		

(参考) nms HDグループの海外展開



各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得

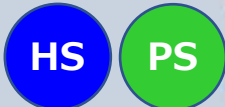
中国・香港



北京日華材創国際技術服務有限公司 (日華材創)
中基綜合(上海)人力資源服務有限公司 (中基綜合)
無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司
東莞分公司 広州分公司 蘇州分公司 大連分公司

中宝華南電子(東莞)有限公司
中宝華南電子(佛山)有限公司
中宝華南電子(佛山)有限公司 深圳分公司
中宝華南電子(佛山)有限公司 蘇州分公司

タイ・カンボジア・ラオス



nms(Thailand) Co., Ltd.
Power Supply Technology
(Thailand) Co., Ltd.



Representative office
of nms (Thailand) Co., Ltd.



NMS Lao Sole Co., Ltd.



TKR Hong Kong Limited
Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

ベトナム



NMS International Resources Co., Ltd.
nms Vietnam Co., Ltd.
TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.

アメリカ・メキシコ



TKR USA, Inc.



TKR de México
S.A. de C.V.

マレーシア



SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.
TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

インドネシア



PT. NMS CONSULTING INDONESIA

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

nms Holdings

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

nms
NIPPON MANUFACTURING SERVICE

日本マニファクチャリングサービス
グループ

国内29拠点・海外19拠点

EMS

エレクトロニクス マニファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

TKR

TKRグループ

国内3拠点(含2工場)・海外8拠点

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

PST

パワーサプライテクノロジー
グループ

国内2拠点・海外5拠点

主なグループ会社

進出国・地域

主な事業内容

ヒューマンソリューション事業 (HS事業)

・日本マニファクチャリングサービス株式会社

- ・nms エンジニアリング株式会社
- ・株式会社日本技能教育機構
- ・中基総合（上海）人力資源服務有限公司
- ・nms Vietnam Co., Ltd.
- ・nms (Thailand) Co., Ltd.
- ・PT. NMS CONSULTING INDONESIA
- ・NMS Lao Sole Co., Ltd. 他

日本
中国
ベトナム
タイ
ラオス
インドネシア
カンボジア

国内/海外におけるマニファクチャリングサービス全般

- ・製造事業（受託・請負・派遣・紹介）
- ・生産系エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・IT・設計開発エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・テクニカルサービス事業（各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般）
- ・ロジスティクスサービス事業（3PL/流通加工/派遣）
- ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生受け入れ先への業務支援

エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 (EMS事業)

・株式会社TKR

- ・中宝華南電子（東莞）有限公司
- ・TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- ・TKR USA, Inc.
- ・TKR de México S.A. de C.V.
- ・株式会社志摩電子工業 他

日本
中国
香港（中国）
マレーシア
ベトナム
米国
メキシコ

・電子機器製造受託サービス

- （基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等）
- ・電子機器修理サービス
- ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造
- ・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業
- ・スタートアップソリューション事業

パワーサプライ事業 (PS事業)

・パワーサプライテクノロジー株式会社

- ・中宝華南電子（佛山）有限公司
- ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.
- ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

日本
中国
香港（中国）
タイ

- ・カスタム電源（スイッチング電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売
- ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売
- ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

